

令和5年度事業報告書

1. 概況

令和5年度の事業計画の基本方針、重点項目に基づき事業を実施した。

学校給食用物資の選定・調達については、引き続き原材料の産地確認、学校給食用物資納入指定業者の指導など、安心・安全・良質な物資の選定に努めた。

また、契約栽培による野菜調達や地元産物資の優先購入など地産地消の推進を図った。

さらに、南学校給食センターにおける食物アレルギー対応食（鶏卵、乳、えび、かに）の提供について、本会もこれに対応した給食用物資を提供した。

なお、本会のホームページに南・北・西学校給食センターの献立のほか、事業計画書・予算書・事業報告書・決算書などを掲載し、引き続き積極的な情報発信に努めた。

給食費の食材価格や調達に関しては、新型コロナウイルスの感染やロシアのウクライナ侵攻の影響による燃料価格の高騰に伴う輸送経費の値上がり、世界的な穀物価格の高騰などにより、全体的に食材価格が予想を超えるなど、取り巻く状況はますます厳しい状況となった。

こうした中、松江市は、物価上昇による食材費高騰に伴う給食費の不足を補い、栄養バランスや献立水準の維持を確保した学校給食の安定供給を行うため、保護者の理解を得ながら、令和5年度2学期分から、平成26年度2学期以来9年ぶりに給食費の値上げ改定を行い、保護者の急激な負担増加抑制のため、値上げ分の半額補助を実施した。

令和5年度の給食実施については、新型コロナウイルス感染症の位置づけが5月8日から5類へ移行されたが、その感染の影響はその後も続き、また6月ごろからはインフルエンザの流行により、市立小・中・義務教育学校で学級閉鎖などの措置が取られたことにより給食の急な中止が相次いだ。

令和5度も引き続き教育委員会と連携し、給食センター所長や学校給食栄養管理者（栄養教諭・学校栄養士）の協力も得ながら収支相償の運営に努めた。

物価高騰による給食費不足分と新型コロナ・インフルエンザによる学級閉鎖等の影響分については、松江市から「給食費と食材費補填」の支援を受けたが、収支状況は4年連続で赤字を計上する状況となった。

また、廃棄食材については、試行的に松江市社会福祉協議会を通じて福祉事業者や「こども食堂」等へ無償提供し、有効活用を努めた。

2. 理事会等の開催状況

(1) 理事会

	議案番号	議 題	開催日時	開催場所
第1回	議第1号	令和4年度事業報告並びに収支決算書類(案)の承認について	R5.6.5	南学校 給食センター
	議第2号	定時評議員会の招集について		
	議第3号	役員候補者の推薦について		
	議第4号	臨時理事会の書面同意について		

第2回	議第1号	理事長、副理事長、常務理事の互選について	R5.6.21	書面表決
第3回	議第1号	令和5年度補正予算（第1号）について	R6.3.14	南学校 給食センター
	議第2号	令和6年度事業計画及び収支予算について		

(2) 監査会

議 題	開催日時	開催場所
令和4年度事業並びに決算についての監査	R5.6.1	会議室

(3) 評議員会

	議案番号	議 題	開催日時	開催場所
第1回	議第1号	評議員の選任について	R5.6.20	ホテル 白鳥
	議第2号	役員を選任について		
	議第3号	令和4年度収支決算承認について		

3. 登記、許認可、報告、届出事項

行政官庁	区 分	年 月 日	事 項
松江地方法務局	申請	令和5年7月18日	法人変更登記申請書
島根県教育委員会	報告	令和5年6月27日	令和4年度事業報告書・収支決算書提出
	届出	令和5年8月2日	公益法人変更届出書提出
	報告	令和6年3月26日	令和6年度事業計画書・収支予算書提出

4. 評議員、役員に関する事項（令和6年3月31日現在）

評議員

氏 名
藤原亮彦
大本公良
足立秀亮
福島喜美子
長島美保子
万代悦子
吉原隆子

役員

役職名	氏名
理事長	宮 廻 智 美
副理事長	糸 賀 昭 雄
常務理事	早 弓 康 雄
理事	藤 原 惠 子
	原 田 岳 志
	塚 谷 裕 正
	佐々木 明 美
	福 田 郁 子
監事	江 角 香 織
	竹 下 昌 宏
	福 井 治

5. 参与に関する事項（令和6年3月31日現在）

氏名	所属	職名	備考
川 中 裕 之	松江市立北学校給食センター	所長	
勝 部 聡 子	松江市立南学校給食センター	所長	
太 田 武 志	松江市立西学校給食センター	所長	
小 島 一 文	松江市立鹿島学校給食センター	所長	
小 汀 雅 夫	松江市立島根学校給食センター	所長	
足 立 訓 英	松江市立八雲学校給食センター	所長	
柳 本 知 史	松江市立宍道学校給食センター	所長	
大 谷 浩	松江市立東出雲学校給食センター	所長	

6. 職員に関する事項（令和6年3月31日現在）

区分	職名	氏名
職員	事務局長	早 弓 康 雄
	事務員	平 野 恵 美
		福 田 陽 子
		上 代 有里花

7. 重点項目

(1) 安心・安全な給食用食材物資の選定・調達

①学校給食用物資選定会

学校給食用物資選定会は、「学校給食衛生管理基準」に基づき、平成23年度から引き続き、松江市PTA連合会並びに松江市教育研究会食育部から参画を得て、給食物資の選定方法・選定過程の透明性の確保、学校給食の運営に対する理解と協働の推進に努めたが、コロナ感染拡大防止のため、4月・5月開催分については外部委員は書面審査とした。6月からは3年3か月ぶりに対面での会議開催を行

った。

なお、選定会は、松江市立北・南・西学校給食センターで使用する食材物資を対象に、夏休み期間を除き毎月開催した。

〔学校給食用物資選定会開催状況〕

開催月日	選定物資	選定者	場所
4月 12日	5月使用分	○松江市 PTA 連合会 ○松江市教育研究会 食育部 ○松江市立北・南・西 学校給食センター 各所長・栄養教諭・ 学校栄養士 ○松江市学校給食課	松江市立西学 校給食センター 2階会議室
5月 2日	6月使用分		
6月 6日	7月使用分		
7月 5日	5年度2学期8・9月使用分		
9月 1日	10月使用分		
10月 3日	11月使用分		
11月 1日	12月使用分		
12月 5日	5年度3学期・1月使用分		
1月 9日	2月使用分		
2月 1日	3月使用分		
3月 5日	6年度1学期・4月使用分		

②学校給食用物資納入指定業者登録

本会は、良質で安心・安全の食材物資を安定的に調達するため、食材物資を購入する業者の指定登録制（登録期間2年）をとっている。

令和3年4月1日から2年間の登録決定した61業者（業者別重複あり；主食7業者、牛乳2業者、副食56業者）から購入した。令和5年度はコロナ感染症の影響により業者負担の軽減を図るため、登録期間を1年間延長し対応した。

ア 納入指定業者数（3～5年度）

給食センター管内	登録 決定数	年度末登 録数	備考
北・南・西	34	33	新規 4 (3年度1、5年度3) 廃業 2 (4年度1、5年度1) 撤退 2 (5年度2)
鹿島	2	1	
島根	2	3	
八雲	5	5	
宍道	9	9	
東出雲	9	10	
計	61	61	

※ 南・北・西センターの業者数は、他センターに納入している業者を含む。

③地産地消の推進について

野菜・肉など食材物資の選定・調達については、学校給食用物資選定基準の「同等・同価格のものは、松江市内産・島根県内産を選定する。」に従い地元産を優先的に使用した。

特に、J Aしまねとの契約栽培による野菜については、松江市の助成（25%）があり低価格で調達できる状況があるが、数量の確保や規格（大きさ、重さ）などの課題もあるところである。

これまで、松江市では、平成29年度からの総合計画において学校給食の地産地消率を、学校給食で使用する野菜（主要8品目）について、平成28年度の33%を令和3年度には40%を目標値として取り組みを行い、これを具現化するため平成30年1月に「松江市地産地消推進行動計画」が策定され取り組まれてきた。

現在、令和4年2月に、市教育委員会において、主要8品目に限らず全品目において、学校給食で使用する野菜の内、松江市で栽培された野菜の使用割合（重量ベース）で、令和4年度から6年度の3年間において44%を目標値として設定を行い、契約栽培の取り組みを維持・拡大するため、取り組みをされているところである。

当会としては、松江市やJ Aしまねと連携を強化し、契約栽培農家や野菜の種類を増加、作付け状況を見据えた献立作成などを行った結果、近年では主要8品目は、48%程度で推移し、平成30年度以降は目標値を上回る成果を達成することができていたが、5年度は天候（高温）により若干下回った。また、全品目（全量）においても41%で推移していたが、5年度は天候（高温）により若干下回った。今後も引き続き、地産地消の推進に努めていくものである。

主要8品目 たまねぎ・キャベツ・白菜・ほうれん草・きゅうり・さつまいも
大根・かぶ

地場産野菜使用割合（%）の変化

年 度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度
主要8品目	43.8	51.0	48.9	48.2	45.6
全品目（全量）	33.8	41.0	41.4	41.4	38.7

（2）給食用食材物資の安全確保

①衛生管理の啓発（学校給食用物資衛生管理研修会の開催）

学校給食用物資納入指定業者を対象にした衛生管理研修会については、令和2～4年度は、新型コロナウイルス感染症の拡大により中止してきたが、令和5年度は8月24日（木）に元年以来4年ぶりに松江保健所から講師を招聘し、①食中毒予防、②異物混入対策、③食品衛生法の改正について、24業者（対象30業者）の参加により開催した。

今後も2年に1回衛生管理研修会を開催し、納入指定業者の衛生管理の向上を図り、食中毒・異物混入の発生防止に努めていく。

②異物混入対策・食品微生物検査対策

給食用物資の異物混入については、平素から学校給食関係者・機関が一体となって、学校給食で異物を出さないよう努めているが、毎年度相当件数発生している。

令和元年度91件、2年度86件、3年度113件、4年度97件、令和5年度

は79件となった。

異物を発見した場合は、納入業者に現物を引き渡し、製造業者を含めて、異物混入の原因とその再発防止対策について速やかな報告を求め、対策の実施を指導した。

また、食品微生物検査対策については、年3回各学校給食センターで実施された食材の微生物検査結果を確認し、基準値を超えた場合は、当該業者に指導・注意喚起を行っている。(5年度は実績なし)

③工場視察の実施

上記の異物混入や食品微生物検査結果に基づき、異物内容、発生回数、検査結果数値等の実態に応じて、工場等への立入調査を行い、その原因や再発防止について業者と協働で対策を講じている。(5年度は2件)

また、納入指定業者の新規申請者については、工場等への視察を行い、設備、衛生管理などの現状把握に努めた。(5年度は1件)

④納入予定物資の産地等の確認

納入予定物資の産地確認を行うと共に、又はホームページにより確認を行い安全確保に努めた。

また、外国産冷凍野菜については、ポジティブリスト(農薬残留値リスト)や細菌検査成績書の提出を受けて、確認を行い安全確保に努めた。

(3) 給食会の収支状況

令和5年度も引き続き教育委員会と連携し、給食センター所長や学校給食栄養管理者の協力も得ながら収支相償の事業運営に取り組んだが、4年連続の赤字を計上する結果となった。

単位：円

年度	正味財産増減額	正味財産期末残高
26	△1,237,557	13,023,147
27	22,830,229	35,853,376
28	3,633,802	39,487,178
29	△5,754,738	33,732,440
30	4,746,083	38,478,523
元	3,262,712	41,741,235
2	△15,584,125	26,157,110
3	△4,736,613	21,420,497
4	△7,891,821	13,528,676
5	△5,482,735	8,045,941

8. 事業の概要

(1) 物資の選定・調達

学校給食用物資の購入にあたっては、本会の納入指定業者登録制度に基づき登録した61業者から購入した。(令和6年3月31日現在)

区分	業者数	登録期間	備考
主食	7	令和3年4月1日～ 令和6年3月31日	副食は業者別重複あり
牛乳	2		
副食	56		
計	61		

①主食

ア 精米・小麦粉

前年度と同様、松江市教育委員会から公益財団法人島根県学校給食会に提出された「学校給食（精米・小麦粉）需要申請書」に基づき、年間を通して(公財)島根県学校給食会から購入した。米は、令和元年11月から松江市管内産こしひかり2等米から市内産のきぬむすめ1等米に変更してきている。

パン用の小麦粉は、国内産小麦100%で内20%が島根県内産を使用し、麺用の小麦粉はオーストラリア産小麦100%を使用した。

イ ごはん・パン・麺

ごはん・パン・麺は、(公財)島根県学校給食会、業者、本会との3者契約により、炊飯3業者、パン2業者、麺1業者から購入した。

②牛乳

「学校給食用牛乳供給対策要綱」（文部科学省事務次官通）及び「島根県学校給食用牛乳供給実施方針」に基づき、配分機関である(公財)島根県学校給食会と牛乳供給事業者である2業者と本会との各三者契約により購入した。牛乳は、すべて島根県内産である。

幼稚園用牛乳については、学校給食法に基づく給食ではないため、本会と牛乳業者2社との個別契約により購入した。

③副食物資

翌月の献立に基づき、納入指定業者から、食材の「サンプル」及び「見積書」を徴取し、学校給食用物資選定会において、「物資選定基準・分類表」に基づき栄養バランス、成分、添加物、アレルギー物質の有無、食味、食感、産地、価格等を比較検討し、納入する物資及び納入業者を決定した。

使用頻度が高く価格変動の少ない物資（調味料・缶詰等）は学期毎の選定を、野菜・食肉等は月毎の選定を行った。

(2) 物資の納入先

給食センター	小学校	中学校	幼稚園	計
北	中央、津田、川津 朝酌、持田、本庄 美保関、八束前期	第二、第四 本庄、美保関 八束後期	中央、津田、川津 朝酌、持田	19

南	雑賀、古志原、竹矢、 乃木、忌部、大庭、 玉湯前期	第三、湖南 湖東、 玉湯後期	雑賀、古志原 忌部、大庭、 たまゆ	17
西	母衣、城北、 内中原、法吉 生馬、古江 大野、秋鹿	第一、湖北	母衣、城北 古江、秋鹿	15
鹿島	恵曇、佐太 鹿島東	鹿島	佐太、講武	7
島根	島根	島根	—	3
八雲	八雲	八雲	—	3
宍道	宍道、来待	宍道	—	4
東出雲	出雲郷、掛屋 意東	東出雲	—	5
8	33	16	16	73

※ 佐太、講武、たまゆ幼稚園は完全給食、その他の南・北・西センター管内の幼稚園は牛乳給食、それ以外の幼稚園は給食なし。

※ 生馬・恵曇・竹矢・本庄・大野幼稚園は休園

9. 資料

(1) 受取給食費単価

① 平成26年2学期から令和5年1学期まで

(単位：円/食)

区分	完全給食	牛乳給食	備考
小学校	272	—	
中学校	313	—	
幼稚園	251	50	

② 令和5年2学期分から値上げ

小学校；272円⇒310円（38円増）

中学校；313円⇒354円（41円増）

幼稚園；251円⇒290円（39円増）

③ 令和5年2・3学期については、値上額の半額を市が負担し、保護者負担を軽減した。

(単位：円/食)

区分	完全給食	牛乳給食	備考
小学校	291	—	
中学校	333	—	
幼稚園	270	61	